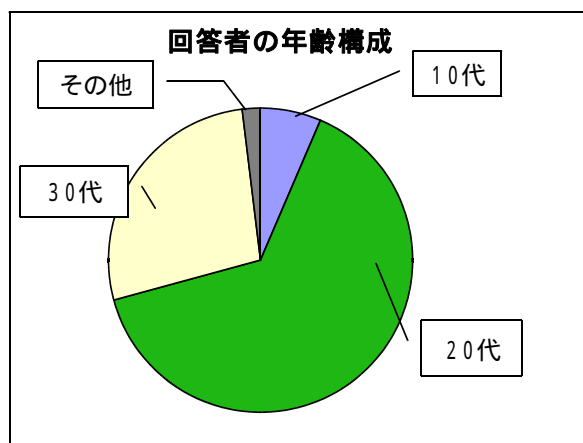


## 青年雇用アンケートの中間集計（概要）

2007年5月1日

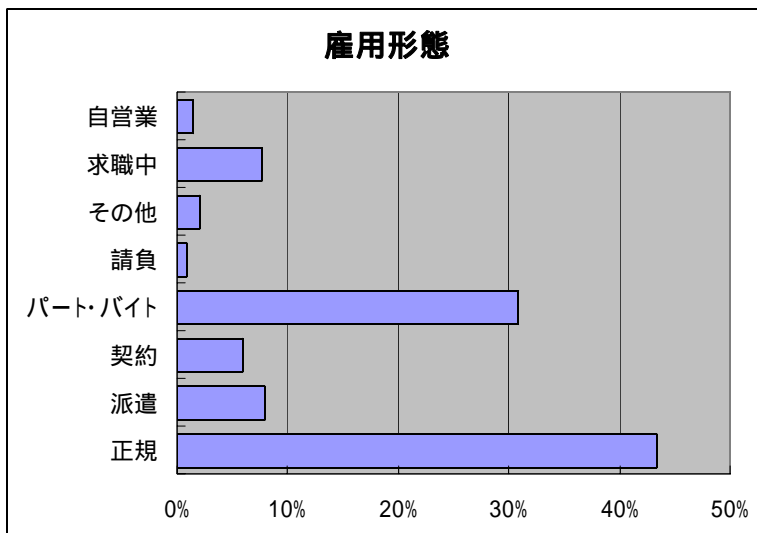


ご協力ありがとうございました。4月1日現在で、街頭で直接記入いただいた方、郵送いただいた方を含めて395人の方々からご回答がありました。引き続き、ホームページでのアンケートを受け付けていますので、よろしくお願い致します。

アンケート結果の概要をまとめましたので、お知らせします。

回答者の性別は男性54.7%、女性45.3%と男性がやや多く、年齢別では20歳代が63%で最も多く、30歳代までで全体の98.2%を占めました。

雇用形態は、正規雇用が44.5%と最も多く、パート・アルバイト30.8%、派遣7.4%、契約5.6%と続き、正規雇用と非正規雇用がほぼ半分ずつとなっています。求職中の人も6.9%いました。

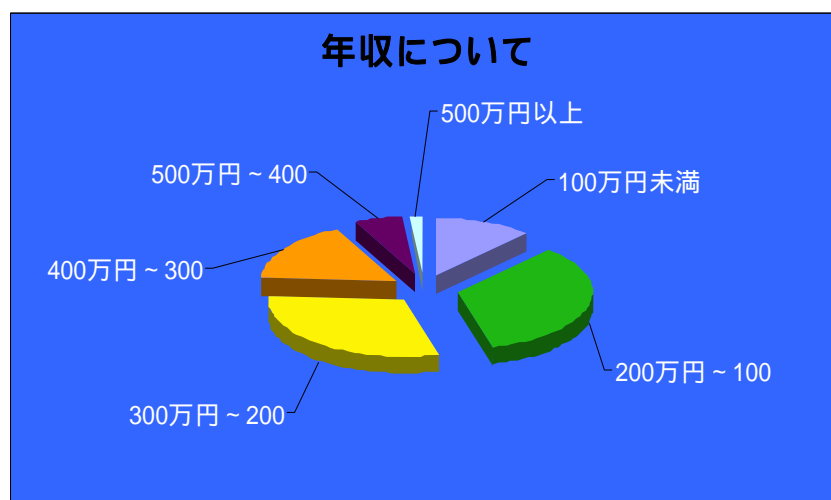


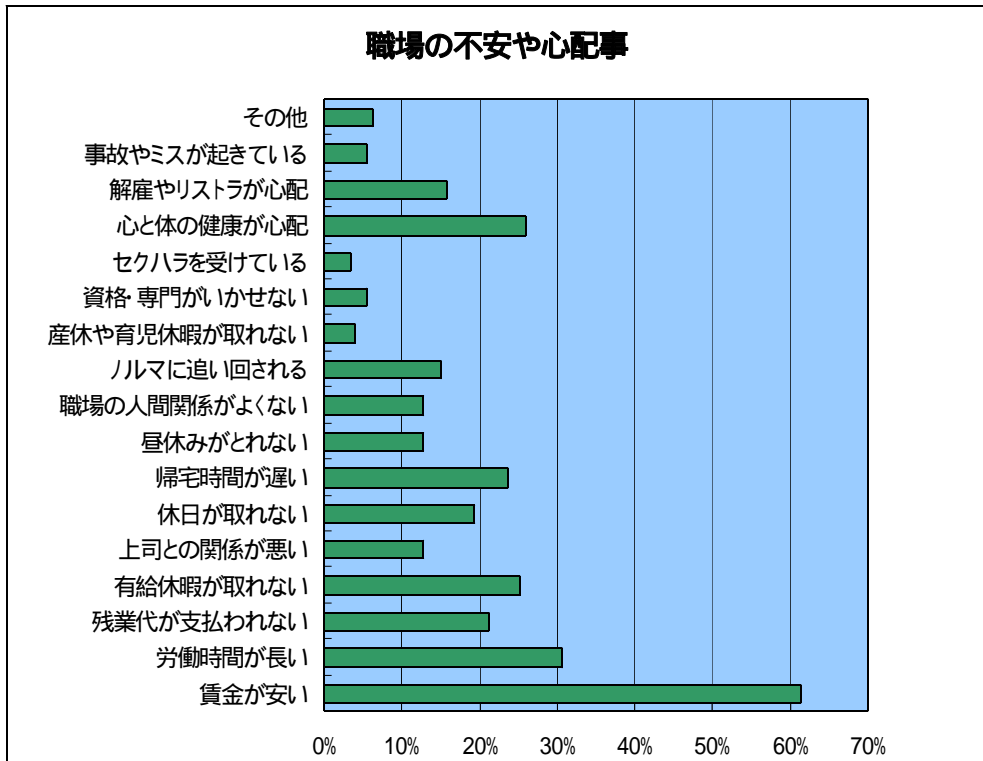
職場の不安や心配事(複数回答)については、「賃金が安い」が60.2%で突出して多く、「労働時間が長い」30.4%、「心とからだの健康が心配」27.2%、「有給休暇が取れない」25.9%、「帰宅時間が遅い」23.6%と続き、「残業代が支払われない」も21.4%

ありました。

長時間、「心とからだの健康が心配」なほど働いても、満足する賃金が得られないことに不満を抱いている実態が浮かび上がっています。

「有給休暇がとれない」が4分の1以上、「残業代が支払われない」が2割以上というのも問題です。





年収では、「100万円～200万円」が33.3%、「200万円～300万円」で28.6%で、100万円未満の人を含めて300万円以下が74.3%を占めています。

「働いても働いても、安心して結婚できるだけの収入が得られない」ことが問題になっていますが、若者

の低賃金の実態の一端が伺えます。

1日の労働時間は、「8～10時間」が50%で、「8時間以下」は25.3%、「10時間以上」は24.7%。残業時間は、「1時間以下」が42.4%で、3時間以上残業をしている人の割合は17%におよび、「5時間以上」は4.4%です。年間労働時間が3000時間を超えている人も11%にのぼっています。

社会保険への加入状況は、健康保険が73.8%、雇用保険が68.5%ですが、この項目の回答者数は292人と少なくなっています。

正社員になることを希望するかどうかを聞いたところ、「なりたい」が56.2%、「なりたくない」が48.5%と（一部回答重複）なっています。「正社員になりたい」理由は、賃金、賞与の違いを挙げている人が多い一方、「なりたくない」とした人では、同じ職場で正社員の働き方をみて、「正社員にはなりたくない」、「今でもこれだけ忙しいのに、正社員になったらもっと忙しくなる」などと記している人が見受けられ、正社員になりたいけれども、これ以上働けないという実態もあるようです。

